



資料編

兵庫県医師会活動経過
医師応援のあった医療機関

兵庫県医師会活動経過

1月17日（火）

（1）交通機関途絶等により、ようやく職員2名が午前9時30分、会館に到着できた。早速、損害程度を点検した結果、建物内部では書庫等倒壊により書類は散逸していたが、幸い建物に損傷はみられなかった。この旨を、会長に報告した。

（2）午前10時 日医系氏常任理事より電話。

（3）午後2時 日医坪井副会長に電話。



- 5 : 46 地震発生。
- 5 : 53 長田区内で火災発生。その後20分間に神戸市内で35件の火災通報。
- 5 : 55 大阪管区気象台が「震源地は淡路島北部、マグニチュード（M）7.2と推定、京都などで震度5と発表。
- 6 : 00 関西、四国のJR、名神高速も全面ストップ。
- 6 : 13 大阪管区気象台が「神戸、震度6の烈震」と発表。
- 6 : 30 ポートアイランドなどの人工島の液状化判明、陸の孤島に。
- 7 : 00 県、市災害対策本部を設置。
- 7 : 35 神戸市東灘区で阪神高速の横倒しか判明。
- 7 : 38 近畿地方に再び強い地震。
- 9 : 30 JR西日本が「山陽新幹線新大阪～西明石間で高架橋の橋げたが5カ所落下している模様」と報道機関に第一報。
神戸市が県に自衛隊出動を要請。
- 10 : 00 知事が自衛隊に出動を要請。自治省消防庁が大阪、京都、名古屋、東京に応援要請。
西宮市立中央体育館に遺体の搬入始まる。
- 11 : 00 気象庁が「兵庫県南部地震」と命名。
- 14 : 00 神戸市長田区の西市民病院で5階部分が崩壊、38人が生き埋めと判明。

1月18日（水）

（4）本日も職員が4人しか出勤できないという事務局体制不備の状況であったが、「事態の掌握並びに被災地区における救急医療体制の整備が急務である」と会長の命により本会に『兵庫県医師会災害対策本部』を設置した。

本部長	会長
副本部長	三副会長
主務本部委員	庶務担当常任理事
本部委員	常任理事、理事、監事
幹事	事務局長

（5）日本医師会に『兵庫県南部地震災害対策本部（本部長＝村瀬日医会長）』が設置された。

（6）日医、近医連を始め、各都道府県医師会、各都市医師会或いは行政、医科大学等から医師・看護婦の派遣並びに医薬品の提供、並びに医師個人よりボランティアの申し出が、本日より昼夜を問わず入電された。

- 神戸市東灘区のカス貯蔵タンクからガス漏れ、住民8万人に避難勧告。
- 西宮市仁川地区の大規模な土砂崩れ現場で、生き埋めとなった34人の救出活動開始
- 神戸市など5市4町で全域、一部が断水。228万9000人に影響と厚生省が発表。
- 村山、河野、武村与党三党首が協議、仮設住宅千戸の建設や自衛隊1万6000人の派遣を決定。
- 県警が24時間体制の行方不明者相談所を設置。

(7)厚生省岡光局長から、会長に「災害援助法適用地域における被災者が、医療機関受診にあたり被保険者証の持参無くとも、保険診療扱いとする。」との連絡があり、至急この旨郡市医師会長宛FAXにより通知し、会員周知方を依頼した。

(8)心配される本会役・職員の安否並びに被災地区郡市医師会の被害状況について電話並びにFAXにより連絡を行ったが、通信網の破壊等により連絡がとれない状況であり、この確認に以後数日を要した。

(9)事務局体制の不備にもかかわらず、日本医師会並びに郡市医師会、更には兵庫県災害対策本部(兵庫県)等から、本会並びに直接会長宅に電話等連絡が続々と入電され、会長指揮下のもと救急、検死活動における指示、依頼等の連絡を行った。

(10)日本医事新報岡編集局長が見舞(会長宅)。

1月19日(木)

(11)被災地区における受診可能な医療機関について調査を行ったが、通信不能の地区が多く、状況把握に以後数日を要した。

(12)マスコミ関係から受診可能な医療機関等の情報提供依頼が、以後数日に亘り昼夜を問わずあり、できる限りの提供を行った。

また、住民からも会員の消息等の問い合わせが頻繁にあり対応にあたった。

(13)各郡市医師会に対し、救急医薬品、器材、医師及び看護婦等の応需状況について調査を行った。

(14)本対策本部宛医薬品等救援物資の申し出が多数入電されてきたが、物資集積の一元化を図るべく兵庫県救援物資受入先である「兵庫県消防学校」に送付されるようその都度連絡をとった。

●スイスから災害救助隊25人と救助犬が関西国際空港に到着。

●神戸市灘区の金沢病院で倒壊の恐れが発生し、入院患者70人が避難。

●神戸港の港湾施設の甚大な被害が判明。

1月20日(金)

(15)各避難所における診療体制の確保について災害指定地区医師会長宛依頼した。

(16)近医連においても常任委員会の了承を得て、『近畿医師会連合災害対策本部(本部長=植松大阪府医師会長)』が大阪府医師会館内に設置され、救急物資の受入、医薬品等の提供、患者の移送等について、その任にあたることになった。

(17)大阪府医師会館にて業界紙記者クラブに対して記者会見。

(18)岡山県医師会より山口課長、並びに広島県医師会より青山常任理事、杉岡課長補佐、広島県中本医療対策課主任が本会に見舞のため来会、同時に救援物資の提供を受けた。

(19)本日に至るも通信網混乱のため、情報収集伝達等に苦慮。

●阪神高速道路湾岸線、高石-天保山間や大阪港線の一部が復旧。

●兵庫県は家を失った被災民に対し、県営住宅の空き家約4000戸の入居手続きを開始。

●日銀神戸支店で都銀など13行の預金払い戻し開始。

●兵庫県は避難所に避難している被災者数を28万3000人と発表。

●京都-新大阪間で東海道新幹線復旧。

●兵庫県内の断水は95万世帯、ガス停止は85万世帯と判明。

●西宮市仁川地区で二次災害の恐れがある約50万世帯に避難勧告。

●気象庁は現地調査の結果、神戸市の一部と淡路島北部を震度7と判定(2月7日に地域をさらに拡大)。

●神戸市東灘区西岡本で80メートルにわたる地滑りが発生、200世帯600人が避難。

1月21日(土)

- (20)兵庫県南部地震に伴う被災者の保険診療並びに労災保険・公害医療の取扱について郡市医師会長宛通知し併せて会員周知方依頼した。
- (21)救援医薬品の流通システム(医療用・一般医薬品・医療器具・衛生材料等)について県保健環境部長より連絡を受け、その旨郡市医師会長宛通知した。
- (22)会長、芦屋市役所(救護本部)、西宮健康開発センター(救護本部)を視察。
- (23)支払基金本部より田中審議役が、本会に見舞いのため来会。

- 神戸市消防局、市内の焼失面積が³100ヘクタールを越えたと発表。
- JR福知山線が³上下線で、阪急伊丹線も伊丹ー新伊丹間を残して復旧。
- 応急危険度判定士らが³立ち入り禁止建造物の確認作業開始。
- フランスの災害救助特別部隊と救助犬が³到着。
- 地震後、初の雨の予報で、二次災害の恐れのある地域住民が³避難。

1月22日(日)

- (24)国立神戸病院(神戸市須磨区)内に『厚生省現地対策本部』(谷口副本部長)が設置された。
- (25)知事からの依頼により、県の設置する避難所救護センターの医療担当責任者に各地区医師会長が³就任するよう要請した。
- (26)入院患者の転院受け入れについて被災地区郡市医師会長宛通知した。
- (27)郡市医師会長宛会員の被害状況について調査を依頼するとともに国保診療報酬の支払いについて通知した。
- (28)本日までに判明した地震による死亡会員(7名)について、日本医師会宛通知した。

- 兵庫県南部と淡路島に大雨・雷・強風・波浪注意報発令。
- 気象庁は余震が³1000回に達し、うち有感105回と発表。

1月23日(月)

- (29)交通事情の改善により、ほぼ職員の出勤が³可能となり、事務局体制も本日より整ってきた。

- 政府の現地対策本部が³県公館で初会合。
- 関西電力が被災地全域への送電を再開と発表。

1月24日(火)

- (30)糸氏日医常任理事が³本会に見舞いのため来会。
- (31)兵庫県南部地震による救急患者の受入れ状況について各郡市医師会長宛回答方を依頼した。

1月25日(水)

- (32)第23回理事会(第1回兵庫県医師会災害対策本部会議)を開催し、次の事項について協議を行った。
- ①現時点における各地の被害状況について
 - ②救援救護活動状況について
 - ③保険診療の取扱について
 - ④各地よりの見舞いの状況について
 - ⑤今後の対策について
- (33)本日までに更に判明した地震による死亡会員(現在まで9名)について日本医師会宛報告した。
- (34)日医より宮坂常任理事が³本会に見舞いのため来会。

- JR甲子園口ー芦屋間が³復旧。

1月26日(木)

(35)日医より、村瀬会長、石川常任理事、広岡・鈴木課長が、本々と27日(金)の両日に亘り来県、神戸市内並びに阪神間の視察を行うとともに、兵庫県知事、神戸市長、芦屋市長、並びに西宮市長とそれぞれ面談を行った。

日医より見舞金を受給した。

(36)大阪府医師会より、植松会長、平山副会長、加島次長が被災地視察を行うとともに本会に見舞いのため来会。

(37)次の事項について郡市医師会長に依頼並びに通知を行った。

- ①会長所感(その1)について
- ②日医における兵庫県南部地震救急医療チームの編成について
- ③社会福祉・医療事業団における災害復旧資金の融資制度について
- ④本会の各種会合について
- ⑤会員の被害状況について

(38)会長所感(その1)を日本医師会並びに関係諸団体に送付した。

●阪神電鉄甲子園ー青木間、復旧。

●神戸市が震災復旧本部を設置。



1月27日(金)

(39)滋賀県並びに和歌山県医師会より事務局員が本会に見舞いのため来会、同時に救援物資の提供を受けた。

●山陽電鉄明石ー霞ヶ丘間、復旧。

●中国自動車道が復旧。

●神戸市が仮設住宅入居受け付け。

●本州四国連絡橋公団第一建設局が「明石海峡大橋淡路島側アンカレッジが西へ1.4メートルずれた」と発表。

1月28日(土)

(40)会員の被害状況等の情報収集並びに救援・救護活動等に関して行政等との連絡調整にあたった。

●国道43号線が全面復旧。

●兵庫県警・自衛隊1万5000人による一斉搜索活動始まる。

1月29日(日)

(41)谷厚生省健政局長が本会に見舞いのため来会。

●インフルエンザが猛威を奮う。

●神戸市が損壊家屋解体申し込み受け付け開始。

1月30日(月)

(42)会員の被害状況等の情報収集並びに救援・救護活動等に関して行政等との連絡調整にあたった。

(43)会長、厚生省を訪問。多田事務次官、谷健政局長、岡光保険局長と面談。

●JR神戸ー須磨間、復旧。

●仮設住宅の入居希望者殺到、兵庫県は7万戸確保を発表。

1月31日(火)

(44)兵庫県南部地震による診療所の被害状況調査について会員よりの被害状況報告方について郡市医師会長に依頼した。

(45)厚生省現地対策本部副本部長が谷口氏より外山氏に交代した。

2月1日(水)

(46)兵庫県南部地震に伴う医療保険請求上の取扱いに関し、兵庫県・神戸市関係各課、労基局、支払基金、国保連合会、並びに三師会等関係団体により次の事項について協議を行うとともに以後も鋭意検討を行った。

①診療報酬請求方法

- イ. 焼失・倒壊しカルテ不明の請求方法
- ロ. 保険証未確認者のレセプト作成と請求方法
- ハ. 一部負担金、入院食事療養負担金のレセの取扱い
- ニ. 支払機関への請求方法(提出先・提出日)
- ホ. レセプトの表示等

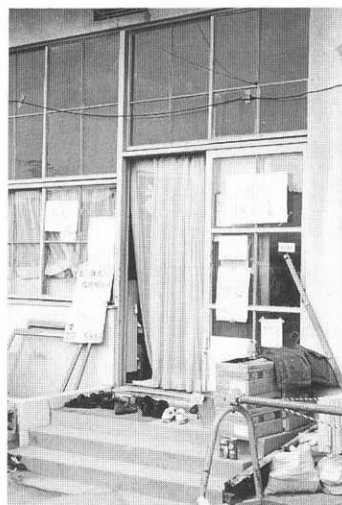
②保険診療としての範囲、災害救助法との関係

- イ. 仮設診療所の診療行為
- ロ. 避難所での診療行為

(47)第24回理事会(第2回兵庫県医師会災害対策本部会議)を開催し、次の事項について協議を行った。

- ①現時点における被災状況について
- ②死亡・傷害疾病見舞、火災見舞等について
- ③保険関係について
- ④災害義援金の税の取扱いについて
- ⑤救護所等における感染症発症状況について
- ⑥患者のヘリコプター搬送について
- ⑦今後の対策について

●阪神電鉄三宮～高速神戸間、復旧。



2月2日(木)

(48)次の事項について、郡市医師会長に通知した。

- ①会長所感(その2)について
- ②兵庫県南部地震災害救援医療チームの派遣について
- ③臨時代議員会の開催について(予告)

(49)会長所感(その2)を、日本医師会並びに関係諸団体に送付した。

(50)会長、飯尾病院(長田区)を訪問。

●淡路・五色町で仮設住宅の入居開始。

2月3日(金)

(51)滋賀県医師会より小林会長他役員、並びに奈良県医師会より有山会長、事務局員が本会に見舞のため来会。

(52)環境庁福原環境安全課長、見舞。

(53)石井一衆議院議員、見舞。

(54)岩波映画、ビデオ撮影。(日医生涯教育ビデオクルーズ)

2月4日(土)～5日(日)

(55)この両日であっても、会員の被害状況等の情報収集、並びに救援・救護活動等に関して、行政等との連絡調整にあたった。

(56)宮崎秀樹参議院議員、見舞(会長宅)。

2月6日(月)

(57)兵庫県南部地震により被災した保険医療機関の診療報酬(1月診療分)の概算請求の取扱いについて、郡市医師会長に通知した。

なお、この件に関して、徹底を期すため、翌日7日(火)に保険ニュース(号外)として災害地域医療機関に直送した。

(58)災害見舞特別事業委員会を開催、兵庫県南部地震被災会員に対する見舞金贈呈に関する基本的考え方について協議をおこなった。

(59)アメリカOperation USAロバート ゲイバー氏来会。

●阪神電鉄三宮一新開地、阪急電鉄花隈一新開地、山陽電鉄高速神戸一新開地の各区間が復旧。

●神戸市がり災証明発行開始。

2月7日(火)

(60)和歌山県医師会より杉浦会長、事務局2名、又岐阜県医師会より小坂会長、諏訪常務理事、事務局1名が本会に見舞のため来会。

(61)民間医療機関(診療所)における被害状況を取りまとめ日本医師会宛報告するとともに、被災民間医療機関再建のため、長期無利息の融資制度実施並びに補助金交付について善処方を要望した。

●神戸電鉄鈴蘭台ー長田間、復旧。

●神戸市内の被災者住宅の第一次抽選発表。

●西宮市で被災者住宅の抽選会。

●神戸市復興計画検討委が初会合。

2月8日(水)

(62)第17回常任理事会を開催し、次の要項について協議を行った。

- ①現時点における被災状況について
- ②救護救援活動状況について
- ③保険診療について
- ④被災地区医師会に対する見舞金について
- ⑤要望書の提出について
- ⑥今後の対策について

●JR東海道線芦屋ー住吉間が復旧。

●すべての県立全日制高校130校で授業再開。

2月9日(木)

(63)震災にかかる各種情報の取りまとめ並びに整備にあたりとともに会員よりの震災に伴う医療保険請求上の取扱いに関する問合せに対応した。

2月10日(金)

(64)災害及び火災の見舞金贈呈に関し、郡市(区)医師会長宛、被災会員よりの届出書取りまとめ方を依頼した。

(65)埼玉県和光市田中市長見舞。

(66)日赤救護活動協議会において会長挨拶。

(67)次の事項について郡市医師会長に通知した。

- ①会長所感(その3)
- ②地震災害に伴う状況調査について
- ③要望書
- ④民間診療所における被害状況表
- ⑤緊急地域医療復興計画について(案)
- ⑥救護所の再編について(案)
- ⑦3月中の会議会合の件

2月11日(土)

(68)高知県医師会より町田会長他役員が本会に見舞いのため来会。

●兵庫県が復興計画を10年とする阪神・淡路震災復興計画の素案を発表。

●阪神電鉄御影ー青木間、復旧。

2月12日(日)

(69)神戸市立魚崎小学校救護所に会長が激励のため訪問した。

(70)厚生省より岡光局長、和田大臣官房審議官他3名が本会に見舞いのため来会。

2月13日(月)

(71)自民党自見庄三郎衆議院議員が本会に見舞いのため来会。

●阪急電鉄御影ー王子公園間、復旧。

2月14日(火)

(72)震災にかかる各種情報の取りまとめ並びに整備にあたった。

(73)日本医師会常任理事会に会長が出席、日医および各都道府県医師会よりの支援に対して謝意を表すると共に被害状況等の現状について報告した。

(74)会長、労働福祉事業団若林理事長と面談(東京)。

(75)会長、厚生省を訪問。谷健政局長、下田保険局課長他と協議。

2月15日(水)

(76)第25回理事会(第3回兵庫県医師会災害対策本部会議)を開催し、次の事項について協議を行った。

- ①現時点における被害状況について
- ②保険診療について
- ③被災地区医師会に対する見舞金について
- ④今後の対策について

(77)会長所感(その3)を県医週報にて全会員に通知するとともに、関係各団体に送付した。

(78)会長が兵庫県芦屋副知事並びに幹部職員と面談し、被災病院の復旧策について種々協議を行った。

●JR和田岬線、復旧。

●神戸市の仮設住宅入居開始。

2月16日(木)

(79)東灘区医師会館において、兵庫県医師会・神戸市医師会・大阪府医師会三者懇談会を開催、本会より石戸副会長が出席し、次の事項について協議した。

- ①大阪府医師会の支援体制の経緯報告について
- ②兵庫県医師会の現状報告と今後の診療体制について
- ③神戸市医師会の現状報告と今後の診療体制について
- ④今後の救護センターのあり方と地元医師会との連携体制について

(80)県医療信用組合宛被災会員に対する融資利率設定(政府並2.5%さらにそれ以下)について配慮方を申し入れた。

●神戸市営地下鉄が全線復旧(三宮など3駅は通過)。

●政府の復興委員会が初会合。

2月17日(金)

(81)埼玉県医師会より、仲田会長他役員、事務局長が見舞いのため来会。

(82)被災地区医療機関の復旧状況を判断すべく、神戸市東灘区・灘区・中央区・兵庫区・長田区・須磨区を対象とした「1日当たり患者数調」並びに「1日断面調査」実施にあたり、神戸市医師会長宛依頼した。

(83)谷洋一衆議院議員が見舞いのため来会。

●震災1カ月、避難所生活者は21万2000人。

2月18日(土)

(84)西宮市において、加古副会長が井出厚生大臣並びに山口同省官房長と面談した。

2月19日(日)

(85)震災にかかる各種情報の取りまとめ並びに整備にあたった。

2月20日(月)

(86)厚生省亀田大臣官房審議官が見舞いのため来会。

(87)中災防伊藤専務理事見舞。

●地震予知連が、M6級の余震の可能性低下と発表。

2月21日(火)

(88)京都府医師会より北村事務局長、藤沢課長が見舞いのため来会。

(89)日医理事会、日医連執行委員会において会長挨拶。

2月22日(水)

(90)第18回常任理事会を開催し、次の事項について協議を行った。

①現時点における復旧状況について

②合同慰霊祭について

4月16日(日)午前11時 於、神戸市医師会館

③被災地区医師会長協議会開催について

3月2日(木)午後3時 於、兵庫県医師会館

④国民年金基金の取扱について

⑤融資対策について

⑥今後の対策について

●「大震災復興基本法」成立。

2月23日(木)

(91)岡山県医師会より永山会長並びに役員、事務局員が見舞いのため来会。

(92)大浜方栄参議院議員が見舞いのため来会。

(93)保健・福祉・医療復興会議(兵庫県)に会長が出席。

緊急を要する復興計画策定のため協議が行われた。

(94)阪神・淡路大震災被災地区医師会長協議会開催について、被災地区医師会長宛通知した。

2月24日（金）

(95)会長が西宮市上ヶ原病院並びに西宮渡辺病院に激励のため訪問した。

(96)近医連常任委員会が大阪市において開催され、会長が出席。

近畿各府県医師会の支援に対する謝意を表した。

また、近医連災害対策本部（大阪府医）より支援状況（震災発生以後の経緯・救護センター等の撤退）について報告があった。

(97)被災会員アンケート調査実施について、被災地区医師会長に対し会員配布並びに回収方について依頼した。

●兵庫県が住宅復興3カ年計画を発表。

2月25日（土）

(98)阪神大震災における救急医療実態調査打合会が大阪市（午後2時於、ホテルプラザ）において開催され、会長が出席、現状報告等を行った。

(99)石川、本吉両日医常任理事が芦屋市医師会を訪問、本会から加古副会長が出席し、被災地区医師会役員と救護所、ボランティア医師等の撤退について懇談を行った。

その後、引き続き石川常任理事が神戸市医師会を訪問、本会から橋本副会長が出席し、神戸市並びに各区医師会代表と同じく上記事項について懇談を行った。

(100)日医より見舞金（第2次）を受給。



2月26日（日）

(101)橋本副会長並びに津名郡医師会長随行の上、石川日医常任理事が北淡町を訪問、同町長並びに幹部職員と懇談した。

(102)震災にかかる各種情報の取りまとめ並びに整備にあたった。

●西宮市、芦屋市で合同慰霊祭。韓国民団なども合同慰霊祭。

2月27日（月）

(103)災害医療システム検討委員会（兵庫県）が本会館で開催され、役員が出席した。

2月28日（火）

(104)阪神・淡路大震災に伴う保険診療の取扱いについて、保険ニュース（号外その2）により全会員に通知した。

〔通知内容〕

- ① 3月以降の一部負担金等の取扱いについて
- ② 被保険者の資格確認について
- ③ 3月のレセプトの提出先並びに提出期日について
- ④ レセプト電算処理システムの取扱い
- ⑤ 公費負担医療の請求
- ⑥ 被災地の被害を受けた医療機関の開設手続きの特例について

●政府復興委が10万戸の復興住宅建設を緊急提言。

3月1日(水)	(105) 本会融資事業提携銀行に対して、被災会員に対する融資利率設定(政府並2.5%、さらにそれ以下)並びに返済不能会員に対する特別措置(元金、利息支払猶予或いは返済期間の延長、利率の引下げ等)について要望した。	●阪神電鉄岩屋ー西灘間、復旧。
3月2日(木)	(106) 被災地区医師会長出席のもと第1回阪神・淡路大震災被災地区医師会長連絡協議会(災害復興会議)を開催し、各地区における被災状況、救援救護活動状況並びに復興への今後の対策について協議を行った。	
3月3日(金)		●避難所の被災者10万人を割る。
3月4日(土)		●明石市で合同慰霊祭。
3月5日(日)		●神戸市、宝塚市、尼崎市で合同慰霊祭。
3月8日(水)	(107) 災害復興対策本部会議(第1回)開催。	
3月12日(日)	(108) 本会会館において阪神・淡路大震災に関する臨時代議員会を開催し、震災関連議案について審議を行った。	
3月13日(月)		●阪急電鉄王子公園ー三宮間、復旧。 ●被災8市で2万2000人以上転出。
3月15日(水)	(109) 災害復興対策本部会議(第2回)開催。	●兵庫県復興本部が発足。
3月22日(水)	(110) 災害復興対策本部会議(第3回)開催。	
3月29日(水)	(111) 災害復興対策本部会議(第4回)開催。	
3月31日(金)		●震災失業者1万3000人越す。

4月1日(土)

(112)日本医師会館において第92回日本医師会定例代議員会が開催され、冒頭、瀬尾会長より各都道府県医師会の支援活動に対し謝意を表した。

●JR難一住吉間の運転再開で、東海道線全線復旧。

4月5日(水)

(113)災害復興対策本部会議(第5回)開催。

●芦屋浜シーサイドタウンで液状化現象拡大。尼崎市では全域で地盤沈下。

4月7日(金)

●阪急電鉄夙川ー岡本間、復旧。

4月8日(土)

(114)4月6日(木)～9日(日)、名古屋において開催された日本医学会総会緊急特別シンポジウム「阪神大震災に学ぶ」に本県から瀬尾会長(座長)及び塩見神戸市立西市民病院長、福岡芦屋市医師会長並びに後藤県保健環境部次長がシンポジストとして、それぞれの立場からの体験等を講演した。

●山陽新幹線姫路ー新大阪間、81日ぶりに復旧。

4月11日(火)

●震災復興宝くじ発売。

●大阪ガスが約70万戸の復旧宣言。

4月12日(水)

(115)災害復興対策本部会議(第6回)開催。

4月13日(木)

●県内の外国人死者は9カ国179人と発表。

4月16日(日)

(116)兵庫県医師会並びに神戸市医師会合同により合同慰霊祭を開催し、参列者400人のもと震災犠牲者9人を追悼した。

●伊丹市、宝塚市、明石市など8市議選告示。

4月19日(水)

(117)災害復興対策本部会議(第7回)開催。

4月23日(日)

(118)本会会館において第110回定時代議員会を開催し、今年度新設の阪神・淡路大震災災害復興事業特別会計予算を可決した。

4月26日(水)

(119)災害復興対策本部会議(第8回)開催。

4月27日(木)

●自衛隊が完全撤収。

医師応援のあった医療機関

震災後の交通機関、ライフライン途絶等劣悪な条件下、全国各地から多くの医師、看護婦等の医療関係者が来県、避難所救護センター、救護所において医療活動に従事していただいた。昼夜の別なく診療に挺身いただいたことに対し厚く御礼申し上げます。

兵庫県、日本医師会並びに都道府県医師会各資料等から本会が掌握した医師の応援のあった医療機関を次のとおり記載させていただく。なお、本会では把握方に鋭意努めましたが、記載漏れのあった医療機関各位にはお詫びし、ご了承承下さるようお願い申し上げます。

北海道

・札幌厚生病院・旭川厚生病院・帯広厚生病院・札幌医科大学・道立北野病院・道立北見病院・奥尻町国保病院・市立札幌病院・岩間脳神経外科・国立十勝診療所・釧路赤十字病院・北見赤十字病院・勤医協中央病院・勤医協札幌診療所・美流渡診療所・平岸診療所・勤医協札幌病院・北海道大学医学部・愛全病院・旭川赤十字病院・国立札幌病院

青森県

・県立中央病院・青森市民病院・弘前大学医学部

岩手県

・岩手医科大学・県立中央病院・県立北上病院・県立久慈病院・県立花巻厚生病院・県立胆沢病院

宮城県

・県立がんセンター・坂総合病院・仙台オープン病院・仙台市立病院・早坂養吉

秋田県

・県立脳血管研究センター・市立秋田総合病院・由利組合総合病院・秋田大学医学部

山形県

・県立中央病院・県立日本海病院・県立新庄病院・県立河北病院・山形大学医学部・東北中央病院

福島県

・福島県立医科大学・県立田島病院・県立会津総合病院・いわき市立総合磐城共立病院

茨城県

・県立中央病院・筑波大学医学専門学群

栃木県

・済生会病院・身障センター・下都賀総合病院・がんセンター・独協医科大学・自治医科大学

群馬県

・県立循環器病センター・がんセンター東毛病院・小児医療センター・県立佐波病院・群馬大学医学部

埼玉県

・小原循環器病センター・がんセンター・小児医療センター・精神保健総合センター

千葉県

・県立救急医療センター・県立精神科医療センター・県立東金病院・旭中央病院・県立こども病院・多古中央病院・県立がんセンター・県立佐原病院・八日市場市民総合病院・葛南病院・東陽病院・君津中央病院・県立千葉リハビリテーションセンター・千葉大学医学部

東京都

・都立豊島病院・都立大塚病院・都立広尾病院・老人医療センター・杏林大学医学部・都立墨東病院・都立駒込病院・都立府中病院・東部地域病院・都立府中療育センター・都立北療育医療センター・若草医院・足立内科医院・代沢診療所・慶應義塾大学医学部・東邦大学医学部・帝京大学医学部・東京慈恵会医科大学・東京大学医学部・公立昭和病院・青梅市立総合病院・日本大学医学部・東京医科大学

神奈川県

・県立こども医療センター・県立がんセンター・県衛生看護専門学校付属病院・県立循環器呼吸器センター・神奈川リハビリテーション病院・県立厚木病院・県立足柄上病院

新潟県

・県立新発田病院・県立がんセンター新潟病院・県立吉田

病院・県立中央病院・新潟大学医学部・県立療養所悠久荘・厚生連糸魚川病院・厚生連中央病院・柏崎厚生病院

富山県

・県立中央病院・黒部市民病院・富山市民病院・高岡市民病院・砺波総合病院・富山医科薬科大学・氷見市民病院・厚生連高岡病院・新湊市民病院

石川県

・県立中央病院・金沢大学医学部・金沢医科大学・国立金沢病院・金沢市立病院・小松市民病院・松任石川中央病院・浅川総合病院・公立加賀中央病院・国立山中病院

福井県

・県立病院・済生会病院・市立敦賀病院・福井総合病院・国立鯖江病院・公立小浜病院・上中病院・福井医科大学・加納外科病院

山梨県

・山梨医科大学・県立中央病院・市立甲府病院

長崎県

・県立須坂病院・県立こども病院・県立木曽病院

岐阜県

・岐阜大学医学部・県立岐阜病院・岐阜市民病院・県立多治見病院・県立下呂温泉病院・大垣市民病院

静岡県

・県立総合病院・静岡市立病院・静岡済生会総合病院・県立こども病院・焼津市立総合病院・沼津市立病院・清水市立病院・厚生連遠州総合病院・富士市立中央病院・県立病院養心荘・聖隷三方原病院

愛知県

・県立愛知病院・県立尾張病院・県立がんセンター・名古屋大学医学部・総合保健センター・豊川市民病院・県立城山病院・コロニーこぼと学園・コロニー中央病院・豊橋市民病院・小牧市民病院・藤田保健衛生大学病院・名古屋市森山市民病院

三重県

・県立医療センター・三重大学医学部・市立伊勢総合病院・山田赤十字病院・松阪市民病院・市立四日市病院・桑名市民病院・済生会松阪総合病院・県立志摩病院

滋賀県

・県立成人病センター・大津市民病院・公立甲賀病院・彦根市立病院・近江八幡市民病院・健康保険滋賀病院・大津赤十字病院・公立高島総合病院・滋賀医科大学

京都府

・国立療養所宇多野病院・国立療養所南京都病院・国立舞鶴病院・国立京都病院・京都府立医科大学・洛和会音羽病院・京都大学医学部・嵯峨野病院・京都四条病院・武田病院・博愛会病院・南病院・西京都病院・愛生会山科病院・西陣病院・繁本医院・武田総合病院・済生会病院・清水病院・木津川病院・関西医大洛西病院・堀川病院・タニムラ医院・大澤病院・吉岡病院・島津医院・北山病院・長岡病院・紅葉丘病院・第二北山病院・醍醐病院・京都博愛会病院・岩倉病院

大阪府

・府立羽曳野病院・中宮病院・成人病センター・母子保健総合医療センター・阪南中央病院・大阪市立大学医学部・弘済院付属病院・市総合医療センター・大阪市立北市民病院・大阪市立十三市民病院・府立病院・身体障害者センター病院・市立堺病院・市立心身障害者リハビリテーションセンター・東住吉森本病院・岸和田市民病院・佐藤病院・浅香山病院・辻外科病院・若草第一病院・芦原病院・辻本病院・藤立病院・大阪医科大学・市立柏原病院・恵生会病院・市立貝塚病院・今川病院・葛城病院・北野病院・市立松原病院・守口生野病院・藤井寺市民病院・協和病院・星ヶ丘厚生病院・岸和田藤井病院・石切生喜病院・大道病院・摂南総合病院・総合加納病院・本田病院・関西医科大学・近畿大学医学部・日赤大阪病院・医真会八尾病院・国立循環器病センター・淀川キリスト教病院・茨木病院・大阪通信病院・大阪大学医学部・国立大阪病院・国立泉北病院・国立療養所刀根山病院

奈良県

・奈良県立医科大学・西奈良中央病院・県立奈良病院・県立三室病院・山の辺病院・県立五條病院・平井病院・済生会中央病院・国保中央病院・精神保健センター・信貴山病院・桜井病院・巽病院・大和高田市立病院・大淀病院・辻村病院・天理よろづ相談所病院・県立心身障害者リハビリテーション・秋津鴻池病院・平尾病院・五条山病院・下市病院・西奈良病院

和歌山県

・和歌山県立医科大学・済生会和歌山病院・和歌山労災病

院・社会保険紀南総合病院・和歌山生協病院・和歌山赤十字病院

鳥取県

・県立中央病院・県立厚生病院・鳥取大学医学部・鳥取市立病院・鳥取赤十字病院・鳥取生協病院・鹿野温泉病院・国立米子病院・山陰労災病院・済生会境港総合病院・大山リハビリテーション病院

島根県

・県立中央病院・県立湖陵病院・松江市立病院・平田市民病院・松江赤十字病院・益田赤十字病院

岡山県

・倉敷中央病院・岡山大学医学部・川崎医科大学・国立岡山病院・岡山市立市民病院・まきび病院・慈主病院・岡山県精神保健センター・高見病院・幸ヶ峯病院・河田病院・ゆうクリニック・玉野市民病院・児島市民病院・備前病院・笠岡市立市民病院・せのう病院・藤田病院・川崎病院・岡山赤十字病院・岡山済生会総合病院

広島県

・広島市民病院・安佐市民病院・船入病院・県立広島病院・広島大学医学部・中国労災病院・公立みつき病院・中国中央病院・福山市民病院・梶川病院・三次中央病院・加計町国保病院・尾道市民病院・因島市医師会病院・呉市医師会病院・厚生連広島総合病院・厚生連尾道総合病院・厚生連吉田総合病院・三原市医師会病院

山口県

・県立中央病院・山口大学医学部・光市立病院・柴田病院・梅田病院・昭和病院・国立湯田温泉病院・国立山口病院・国立療養所山陽荘病院

徳島県

・県立中央病院・徳島市民病院・健保鳴門病院・阿南共栄病院・県立海辺病院・阿波病院・麻植協同病院・桜木病院・県立三好病院・徳島市立園瀬病院・城西病院・第一病院・八多病院・手束病院・佐藤外科・阿南医師会中央病院・中西医院・川島病院・高田整形外科・徳島大学医学部・県立三野病院

香川県

・県立中央病院・香川医科大学

愛媛県

・県立中央病院・愛媛大学医学部・済生会今治病院・松山赤十字病院

高知県

・県立中央病院・県立安芸病院・県立宿毛病院・県立西南病院・高知医科大学

福岡県

・県立遠賀病院・県立嘉穂病院・県立朝倉病院・県立柳川病院・飯塚病院・久留米大学医学部・福岡大学医学部・粕屋新光園・九州大学医学部・福岡県医師会・岸本小児科・原三信病院・徳山内科クリニック・福岡赤十字病院・福岡医院・岩谷クリニック・筑前山田赤十字病院・藤井病院・総合せき損センター・丸野クリニック・筑豊労災病院・聖マリア病院・済生会大牟田病院・不知火病院・朝倉記念病院

佐賀県

・県病好生館・佐賀医科大学・多久市立病院・伊万里市立病院・西有田共立病院・県立佐賀病院・唐津日赤病院

長崎県

・県立成人病センター多良見病院・長崎市民病院・長崎大学医学部・佐世保市立総合病院・県離島医療圏組合上五島病院・県立島原温泉病院

熊本県

・熊本市民病院・県健康センター・県こども総合療育センター

大分県

・大分県立病院・県立三重病院・大分医科大学・アルメイダ病院

宮崎県

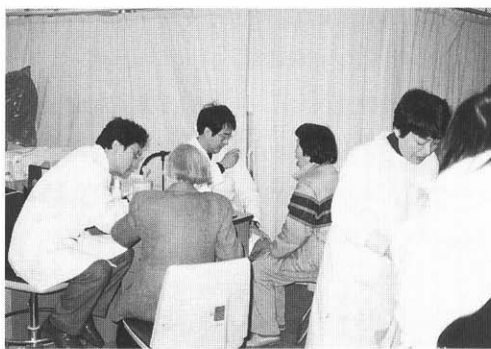
・県立延岡病院・宮崎医科大学・県立宮崎病院・宮崎市郡医師会病院

鹿児島県

・県立薩南病院・県立鹿屋病院・県立北薩病院・県立大島病院・鹿児島市医師会立病院・曾於郡医師会立病院・川内市医師会立市民病院・出水郡医師会立阿久根市民病院・肝属郡医師会立病院・鹿児島大学医学部・垂水市医療センター・鹿児島市立病院

沖縄県

・県立中部病院・県立南部病院



編集後記

平成7年1月17日、誰もが予想しなかった兵庫県南部地震が発生した。都市直下型の大地震は一瞬にして多くの人命を奪い、多大の建造物を崩壊し焼失する未曾有の大災害をもたらした。生涯忘れることのできない悪夢のような阪神・淡路大震災であった。

あれから1年を経過する現在、崩壊した建造物の大部分は撤去されたものの未だ激震の傷跡そのままに放置されている所もあり、歯の抜けたようにさら地と化した住居跡への復興は遅々として進んでいない有様である。家屋を失った被災者は住み慣れた土地を離れて、仮設住宅、縁故先、あるいは新しい土地に仮の住居を求めて離散し、不自由な生活を余儀なくされている。被災地の医療機関も数の上では大部分が診療可能とされるが、仮設のまま不完全な診療機能に耐えている所も多い。

大震災から1周年を迎える日、兵庫県公館では「阪神・淡路大震災犠牲者追悼式」が執り行われ、犠牲者を追悼するとともに復興への決意を誓った。しかしながら、復興の基礎となる住宅の再建は未だ緒についたばかりであり、被災した街と人にはなお深い傷跡が残り、被災地の外では震災の記憶が薄れていくなかで、復興への厳しい道程は2年目に入っている。

兵庫県医師会では震災1周年を期に、できるだけ冷静に当時を振り返りながら、被災地医師会ならびに会員が医療関係の団体あるいは個人として遭遇した様々な体験を集約する記録誌の作製を企画した。

この度の大震災では近代社会における災害について多くの反省点が指摘され、不幸な出来事を教訓として災害時の医療体制についてもいろんな角度から見直しが進められている。災害は忘れたころにやってくる。いつどこで発生するかも知れない災害に備える意味か

ら、この記録誌がいささかなりともお役にたてばと願っている。同時に、本誌が震災発生以来被災会員の復興にあるいは被災地の災害医療活動に対して日本医師会、近畿医師会連合をはじめとする全国都道府県医師会、ならびに関係諸団体より寄せられた物心両面の温かいご支援に報いる感謝の一助になればと願うものである。

本誌の編集に当たり、貴重な資料をお寄せいただいた会員各位をはじめ関係諸団体にお礼を申し上げますと共に出版にご協力賜った神戸新聞総合出版センターに謝意を表したい。

編集委員

石戸 力	永井 晴男	近藤 七郎
橋本 章男	加古 康明	岡田弘三郎
前田富士夫	西村 亮一	梶川 洋司
白倉卯三郎	栗原 英世	大田黒義郎

震災と医療

阪神・淡路大震災の記録

発行日 平成8年3月28日
発 行 社団法人 兵庫県医師会
神戸市中央区中山手通6丁目1-30
TEL (078) 371-4114
編集協力 神戸新聞総合出版センター
印 刷 日本写真印刷
資料提供 神戸新聞社



震災と医療

阪神・淡路大震災の記録

兵庫県医師会